

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回茨木市立三島小学校 学校運営協議会
開催日時	令和5年12月15日（金） （午前・ <u>午後</u> ） 7時30分 開会 （午前・ <u>午後</u> ） 9時00分 閉会
開催場所	茨木市立三島小学校 1階 会議室
出席者数	7人
欠席者数	2人
開催形態	<u>公開</u> ／非公開
議題（案件）	(1) 三島小学校の教育活動について (2) 全国学力・学習状況調査について (3) 学校教育自己診断アンケートについて (4) その他
配布資料	(1) 学校運営協議会 資料 (2) R5 全国学力・学習状況調査分析結果 (3) 学校教育自己診断アンケート結果

議 事 の 経 過

議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

(1) 三島小学校の教育活動について

(委員)「タブレットを使った授業の様子や課題は」

(学校)「学び方のトラブルはみられず、子どもたちはクリエイティブに機器に順応している。子どもの方が扱いに慣れることが早い。

アナログのノートとデジタルのタブレットは学びの内容に応じて使い分けをしている。アナログの良さもある。

電子機器なので、破損したり不具合で使えなくなったりすることもある。」

(委員)「ミマモルメとまなびポケットはどちらがよいのか。」

(学校)「メール配信サービスは、登録すれば誰でも見ることができる。それは良さでもあるが、なりすましなどの脆弱さがある。ミマモルメは、登下校を保護者が管理できる良さがある。」

(委員)「発信に関して外国籍の方への配慮は？」

(学校)「学校だよりは『やさしい日本語』表記をしているが、データで配信することによりウェブの翻訳機能を使って伝わりやすくすることができる。」

(2) 全国学力・学習状況調査について

(委員)「大学生で 1 年間 1 冊も本を読まないという人がいると聞いた。読み聞かせボランティアは今も行っているのか。」

(学校)「学校では行っている。学校では読書をするが、家庭では読書をしない児童が一定数いる。家で読むという習慣は薄れてきている。しかし、子どもは本を読むことが好き。時間を惜しんで読書をする場面もみられる。」

(委員)「子どもが家庭ですることが増えてきているのでは。習い事や、ゲームなども子どもが自分で時間を計画的に使うことが難しくなっているように思う。」

(3) 学校教育自己診断アンケートについて

(委員)「アンケートの項目が十数年来変わっていないようだ。答えにくい項目がある。」

(学校)「経年比較すべきものと、新しく組み入れていくものを精査していく。次回の協議会で、項目の案をいただければ。」

(委員)「具体的にすればするほど、項目は増える。それを踏まえて項目をつくるとよい。」

(委員)「項目数が多いとしんどいし、内面を問われているようなものには答えにくい。漠然としている方が答えやすいのではないか。」

(委員)「保護者は%よりも、このアンケートがどう活かされたのかというフィードバック

議 事 の 経 過

議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

クの方が知りたいのではないか。」

(学校)「例年３月配布の結果を、学校運営協議会にて承認が得られれば、３学期の早期にフィードバックしていきたい。」

(委員)「PTA だけではなく、保護者同士のつながりや地域とのつながりが薄くなっている。そのような取組が地域としても必要ではないか。」

(委員)「PTCA (C=コミュニティ) という枠組みで考えていく必要があるのではないか。PTA は地域と保護者をつなぐ役割を担う。」

(委員)「子どもが地域につながることで、子どもを通して親も子どもも地域を知っていく。」

(4) その他

(委員)「地域活動をInstagramで募ったら、伊丹市の学生が手を挙げて行ってくれた。地域以外の応援部隊や実行部隊を募るという発想。SNS を活用すれば可能性が広がるのではないか。」

以上